

② 日本国特許庁 (JP)

③実用新案出願公開

④ 公開実用新案公報 (U)

昭62-105287

⑤Int. Cl. 4

E 06 B 3/06
C 03 C 27/06

識別記号

101

庁内整理番号

8405-2E
8917-4G

⑥公開 昭和62年(1987)7月4日

審査請求 未請求 (全2頁)

⑦考案の名称 複層ガラス

⑧実願 昭60-197363

⑨出願 昭60(1985)12月24日

⑩考案者 鈴木 純一 松阪市駅前町263-32

⑪考案者 田尾 正人 松阪市大黒町1858

⑫考案者 竹内 伸行 伊勢市一ノ木5-4-5

⑬出願人 セントラル硝子株式会社 宇都宮市大字仲字部5253番地
社

⑭代理人 弁理士 板本 栄一

⑮実用新案登録請求の範囲

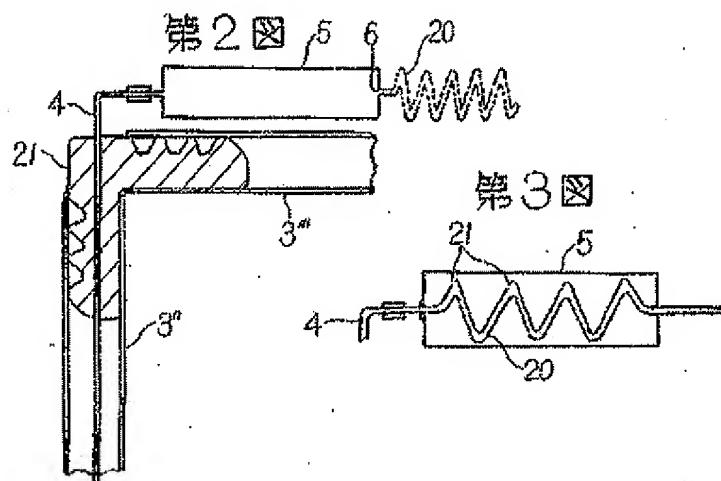
(1) 間隔を隔てて対向する複数枚の板ガラスの間に吸湿剤を収納した間隔保持部材を設けて内部空間を形成した複層ガラスにおいて、前記内部空間側より外部空間側に延在する連通管に吸湿剤を収納した筒状体を着脱自在に連設し、筒状体の他端に外部空間と通する細孔を設けたことを特徴とする複層ガラス。

(2) 筒状体に設けた細孔に小口径管を付設したことを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項記載の複層ガラス。

図面の簡単な説明

第1図は本考案の一実施例を示した要部斜視図、第2、3図は別の態様を示した要部断面図である。

1…複層ガラス、4…連通管、5…筒状体。



実開 昭62-105287(2)

